

ライフステージ毎の健康福祉のかかわりは以下のとおりです。

## 1. 乳幼児期

- 妊娠中や子育て中の家庭が、妊娠・出産・子育てに関する様々な不安を解消できるよう、妊娠期から出産後の子育て期に至るまで、身近な場所で相談でき、個々のニーズに応じて適切な支援やサービスを円滑に利用できます。
- 子どもが病気になったとは、身近な地域で診断から治療まで医療が受けられ、急病や重症のときも、必要な医療が受けられる環境が整っています。
- 子どもを持つ親が孤立することなく、気軽に親子で集う場所があり、地域の実情に応じたきめ細かな子育て支援サービスが受けられます。
- 親が働いているかいないかにかかわらず、希望するすべての子どもが幼児教育や保育が受けられ、子どもが健やかに成長することができます。
- 県や市町村を始め地域の関係機関との連携により、社会全体で子どもや子育て家庭を応援し、子どもへの虐待を防ごうという機運があります。
- 障害の早期発見・早期支援に加え、成長に応じた切れ目のない支援や相談が受けられることにより、障害のある子どもの成長・自立を促進し、保護者が安心して子育てできる環境が整っています。
- 重度の発達障害や重症心身障害のある子どもが身近な地域で必要な医療や療育を受けられる体制が整備されています。

## 2. 就学期

- 社会の変化に対応するために必要な力を育成していくため、子ども成長の段階に応じた多様な体験活動が学校で行われています。
- 共働き家庭などの児童が、小学校入学後の放課後に、安全・安心に過ごすことができる居場所が地域にあります。
- 子どもの頃から、バランスのとれた食事、適度な運動、十分な休養と睡眠等の望ましい生活習慣を獲得できるよう、家庭を中心に学校と地域が連携した取組が行われています。
- 学校現場等において、がん等の生活習慣病に関する正しい知識を学ぶ機会が提供されています。
- 障害のある子どもの障害の状態、本人のニーズ、学校や地域の状況等を踏まえた総合的な観点から就学先が決定されるとともに、一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な支援・指導を受けることができる体制が整備されています。

### 3. 就労期（前期）

- 希望する仕事にチャレンジする機会があって、希望にあった仕事をすることができます、経済的に安定した生活ができます。
- 男女のさまざまな出会いの機会があって、希望する人が希望するときに、結婚や子どもを持つことができます。
- 妊娠や出産に関し正しい知識を身につける機会があるほか、リスクの高い分娩であっても安心して出産できる医療体制が整備されています。
- 長時間労働を前提とした働き方の見直しが進み、仕事と生活の調和がとれ、家庭や健康を大切にしながら生き生きと仕事や地域活動などの社会生活ができる環境が整っています。
- 障害のある人が自立した地域生活を安定的かつ継続的に送れるよう、住まいの場が確保されるとともに、ニーズに応じた適切な福祉サービスを利用することができます。
- 働く意欲がある障害のある人が、特性に応じて能力を十分発揮できるよう、職業能力の開発から就労・定着までの切れ目のない支援を受けることができる環境が整っています。

### 4. 就労期（後期）

- 働き盛りの壮年期は、生活習慣病の発症リスクが高まります。適切な食生活や運動習慣、十分な休養、喫煙習慣の見直し等の生活習慣の改善と定期的な健診やがん検診等の受診により、生活習慣病の発症予防と早期発見に努めています。
- 家族の介護が必要となっても、一人で抱え込むことなく、必要な介護サービスの提供を利用しながら、引き続き仕事を続けることができます。
- また、がんなどの病気になっても、働く意欲・能力のある人が、仕事を理由として治療機会を逃すことなく、また、治療を理由として離職することなく、外来で適切な治療を受けながら、仕事を続けることができます。

## 5. 高齢期（前期）

- 高齢者が意欲的に働き続けられ、これまで培ってきた知識、経験、技能、つながりを活かし、地域活動やボランティア活動、生涯学習等、地域社会で積極的な役割を担い、様々な世代と交流し、様々な人とつながることができます。
- 高齢者が自ら主体的に、健康づくりや介護予防に取り組み、要介護状態になることなく、又は状態の軽減を図り、健康で自立した生活を送り続けることができます。
- 障害のある人や介護する家族が高齢になっても、地域における関係機関が連携し、保健・医療・福祉の適切なサービスや支援を総合的に受けられることにより、住み慣れた地域で安心して生活することができます。

## 6. 高齢期（後期）

- 年齢を重ねて、医療や介護が必要な状態になっても、できるかぎり住み慣れた地域で自分らしく暮らすことができるよう、医療、介護、生活支援等の必要なサービスが一体的に提供されています。また、地域住民による見守り活動等、住民相互の支え合いが行われ、一人暮らしでも安心して暮らすことができます。